

第 6 表 日本植物調節剤研究協会で供試された
ミカン摘果剤

試験 年度	薬 剤 名	主 成 分
51年	フィガロン	5-クロロインダゾール酢酸エチル エステル
	T I B A	2,3,5-トリヨード安息香酸ナトリ ウム
52年	フィガロン	5-クロロインダゾール酢酸エチル エステル
	KP-1100	ドデシルベンゼンスルホン酸カルシ ウム塩
	SLG-522	2,3,5,6-テトラクロロフェニル酢 酸ナトリウム
53年	フィガロン	5-クロロインダゾール酢酸エチル エステル
	SLG-522	2,3,5,6-テトラクロロフェニル酢 酸ナトリウム
	DGR-63	(未公開)
	A-365	2,4-ディクロロフェノキシ-2- プロピオニックアシド
54年	フィガロン	5-クロロインダゾール酢酸エチル エステル
	DGR-63	(未公開)
	AXF-1072	2,4-ディクロロフェノキシ-2- プロピオニックアシド

は、神奈川園試の調査によれば、糖含量が高く、
果実がよく充実していると報じられており、フ
ィガロン散布は、貯蔵性を向上させるとされる。

Ⅱ. フィガロン以外の薬剤についての研究 の現状

第 6 表は、51年以降に日本植物調節剤研究協
会が、ウンシュウミカンの摘果剤として試験を
各試験研究機関に依頼した農薬の一覧表である
が、フィガロン以外の摘果剤については、使用
方法等について未だ確定されておらず、今後の
研究が望まれる。

フィガロンは、N A A に比べ安心して使用で
き、品質向上も目ざせる摘果剤であるといえる
が、その上品質向上も可能な新摘果剤の早期の
開発がまたれる。

昭和54年度常緑果樹関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和54年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤
委託試験成績検討会は、昭和55年 2 月 19 日(火)、
静岡県婦人会館(静岡市駿府町 1-74)において、
試験場関係者および委託関係者 114 名参集のも
とに開催された。

当検討会では、除草剤 17 薬剤計 66 点、生育調
節剤 12 薬剤 114 点について、各試験場担当者の
報告、その質疑応答ならびに慎重な検討がなさ
れた。

その判定結果は、次のとおりである。

昭和54年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A. 除 草 剤

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場 所 (数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新継 の別 今回 判定	判定内容または理由
1. AH-501 液剤	1,1'-ジメチル-4,4'- ビピリジリウムジク	旭化成工 業	ミカ ン類	静岡柑試、 徳島果試、	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 茎	継	実: 春・夏期雑草生 育期, 30 ml/a, 茎

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新継 の別 今回 判定	判定内容または理由
1. AH-501 液剤 (つづき) ○ パラコー ト ● _____	ロライド24.0%			佐賀果試. (3)	葉処理; 20, 30 ml/a (15~20 ^l); 春期, 夏 期果樹生育中雑草発 生中(但し, 雑草生育 最盛期前). 〈比較〉グラモキソン 液剤.	実 ・ 継	葉処理. 継: 夏草に対する草 量と濃度について 再検討.
2. AH-501① 液剤 ○ パラコー ト ● _____	同 上7.0%	同 上	同上	神奈川園試 根府川分場, 静岡柑試, 愛媛果試, 徳島果試, 佐賀果試, 長崎果試, 鹿児島果試. (7)	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 全 面雑草茎葉処理; 70, 100 ml/a; 春期・夏 期, 果樹生育中雑草 発生中(但し, 雑草生 育最盛期以前). 〈比較〉グラモキソン 液剤.	新 実 ・ 継	実: 春・夏期雑草生 育期, 100 ~ 150 ml/a, 茎葉処理. 継: 低濃度でのステ ージ, 草量と効果 の関係について再 検討.
3. AH-502 水和剤 ○ _____ ● _____	未 公 開	同 上	同上	果試興津支 場, 静岡柑 試, 広島果 試, 香川農 試府中分場, 長崎果試. (5)	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 全 面雑草茎葉兼土壌処 理; 35, 50 g/a (15~ 20 ^l) 春期・夏期, 果 樹・雑草生育中(但 し雑草最盛期以前散 布). 〈比較〉グラモキソン 液剤 + DCMU 水和 剤慣行使用量. 展着 剤不要.	継 実 ・ 継	実: 春・夏期雑草生 育期, 50 g/a, 茎 葉兼土壌処理. 継: 夏草の低濃度 における雑草草丈と 効果の関係につい て検討.
4. DBN 粒剤 ○ DBN ● カソロン 4.5	2,6-ジクロロベンゾ ニトリル4.5%	兼 商	同上	大阪農技セ ンター, 和 歌山果園試, 広島果試, 福岡園試, 宮崎総農試. (5)	適用性(効果)試験 雑草全般(特に広葉); 全面土壌処理; 0.8, 1.0, 1.2 kg; 春雑 草発生前~始期, 春 期中耕(ロータリー) 後雑草発生前~始期 の2時期各1回.	継 実	● 春草, 中耕後雑草 発生初期まで, 800 g/a 土壌処理(処 理後, 中耕はしな いこと).
5. DDX 水和剤 ○ DCMU・ DCPA, XMC ● _____	DCMU: 3-(3,4-ジ クロロフェニル)- 1,1-ジメチル尿素10% DCPA: 3,4-ジクロ ルプロピオンアニリ ド40% XMC: 3,5-キシリル -N-メチルカーバ メイト8%	北興化学 工業	ミカ ン類	静岡柑試, 三重農技セ ンター紀南 かんきつセ ンター, 山 口大島柑試, 大分柑試, 鹿児島果試. (5)	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 全 面雑草茎葉処理; 100, 150 g/a (15~20 ^l); 春・夏期, 雑草生育 期(夏→梅雨期). 〈比較〉ワイダック水 和剤.	継 実 ・ 継	実: 春・夏期雑草生 育期, 100 ~ 150 g (水量15~20 ^l) /a, 茎葉処理. 継: 低濃度での効果 の確認.

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新継 の別	判定内容または理由
						今回 判定	
6. レグロック ス 液剤 ○ ジクワッ ト ● _____	ジクワットジプロミド ……………30%	アイ・シ ー・アイ ・ジャパ ン, 日本 農業, 武 田薬品工 業.	ミカ ン類	果試興津支 場. (1)	基礎試験 一年生雑草全般; 1) 土壌処理兼茎葉処理, 2) 茎葉処理. 詳細は一任.	新 継	● 試験年次不足.
7. KH-212 粒剤 ○ DBN・ DCMU ● _____	DBN: 前掲……………3% DCMU: 前掲……………2%	兼 商	同上	四国農試, 愛知農総試 蒲郡支所, 山口大島柑 試, 香川農 試府中分場, 愛媛果試, 佐賀果試.	適用性効果・薬害試験 雑草全般; 全面土壌 処理; 0.8, 1.0, 1.2 kg; 春期雑草発生前 〜始期. 〔香川農試府中分場〕 1.2, 6.0 kg 薬害ポ ット試験.	新 実・ 継	実: 雑草発芽初期(ロ ーター後), 800 g/á, 土壌処理. 継: 草丈と薬量の関 係.
8. MON-39 液剤 ○ グリフォ セート ● ラウンド アップ	N-(フォスフォノメ チル)グリシンイソプ ロピルアミン塩 ……………41.0%	ラウンド アップ研 究会(事: 日本モン サント)	同上	〔クズ〕四国 農試,〔セイ タカアワダ チソウ〕大 阪農技セン ター,〔サ サ〕佐賀果 試. (3)	適用性(効果)試験 多年生雑草(宿根草); 雑草茎葉スポット処 理; 〔クズ〕1, 2, 3%液, 〔各5/á〕, 生育最盛 期(3m以上時). 〔ササ〕2, 3%液〔各 5/á〕, 7〜9月頃地 下茎伸長期. 〔セイタカアワダチ ソウ〕1, 2%液〔5 /á〕, 刈取1ヶ月後 頃. 2%液〔10/á〕, 出穂前, 開花前の2 期各1回.	継 実・ 継	実: 〔クズ〕生長完了, 開花終期(8月頃), 1%液5/á, 茎葉 処理. 〔セイタカ アワダチソウ〕刈 取再生後, 草丈30 cm以内, 1〜2% 液5/á, 茎葉処理 (再生した場合は 再処理をする). 継: ササに対する効 果について検討.
9. MW-801 液剤 ○ _____ ● _____	(2-アミノ-4-メチ ルホスフィノ-ブチリ ル)-アラニルアラニン ・ナトリウム ……………30.0%	明治製薬	同上	果試興津支 場〔薬害も 含む〕, 静岡 柑試, 香川 農試府中分 場. (3)	適用性効果・薬害試験 雑草全般(多年生含 む); 全面茎葉処理; 50, 100 m/á(10/); 春期および夏期, 雑 草生育期. 〈比較〉ラウンドアッ プ, 50m/.	新 継	● 試験年次不足.
10. MW-802 液剤 ○ _____ ● _____	未 公 開 塩として 50.1% 有効分 30.0%	同 上	同上	果試興津支 場〔薬害も 含む〕, 静岡 柑試, 香川 農試府中分 場. (3)	適用性効果・薬害試験 雑草全般; 全面茎葉 処理; 50, 100 m/á (10/); 春期および夏 期雑草生育期. 〈比較〉ラウンドアッ プ液剤, 50m/.	新 継	● 試験年次不足. ● 成分未公開.

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新継 の別 今回 判定	判定内容または理由
11. NP-55 乳剤 ○ _____ ● _____	アロキシン誘導体 ……………20%	日本曹達	ミカ ン類	果試興津支 場, 四国農 試, 大阪農 技センター, 香川農試府 中分場, 福 岡園試. (5)	適用性(効果)試験 イネ科一年生雑草; 全面雑草茎葉処理; 20, 40 ml, 20 ml + oil 0.4%; 夏期, イ ネ科雑草20~30 cm 時および30~50 cm 時の2時期.	新 継	● 試験年次不足.
12. NP-55 乳剤 ○ _____ ● _____	同 上	同 上	同上 (ミ カン 園の ノリ 面な ど)	果試興津支 場, 同安芸 津支場, 同 口之津支場, 四国農試, 大阪農技セ ンター. (5)	適用性(効果)試験 イネ科多年生雑草; 全面茎葉処理; 50, 100, 200ml/a; 雑草 生育期(ススキ50~80 cm時).	新 継	● 試験年次不足.
13. Q-332 水溶剤 ○ _____ ● _____	未 公 開	日産化学 工業	ミカ ン類	[一年生雑 草] 大阪農 技センター, 香川農試府 中分場, 熊 本果試. (3) [多年生雑 草] 果試口 之津支場, 四国農試, 静岡柑試. (3)	適用性(効果)試験 雑草全般; 全面雑草 茎葉処理; 1) 30, 50 g; 春期・ 夏期一年生雑草生 育盛期, 茎葉(ス ポット)処理. 2) 50, 100 g; 多年 生雑草生育盛期. <比較> MON-39 液 剤, 一年生30ml/ 多年生50ml.	継 継	● 試験例数不足. ● 成分未公開.
14. RH-2915 ・D 水和剤 ○ _____ ● _____	RH-2915: 2-クロロ -4-トリフルオロ メチルフェニル-3'- エトキシ-4'-ニ トロフェニルエーテ ル ……………30% DCMU: 前掲 ……………30%	三洋貿易, 東京有機 化学工業,	ミカ ン類	神奈川園試 根府川分場, 高知果試, 大分柑試. (3)	適用性(実用化)効果試 験 一年生雑草全般; 雑 草茎葉処理; 30, 60g (15l); 春期・夏期, 雑草生育中期まで(草 丈30cm 前後までに 散布する). <比較> グラモキソン 液剤.	継 実	● 春・夏季雑草, 草 丈30cm 以下の時, 30~60g(水量15l/ /a, 茎葉処理.
15. HW-920 微粒剤 ○ DCMU 除草剤 ● _____	DCMU: 前掲 ……………3.0%	保土谷化 学工業	パイ ナッ プル	沖縄農試名 護支場, 同 八重山支場. (2)	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 全 面雑草処理; 750, 1000g/a; 雑草生 育初期(草高10~15 cm時).	継 実	● 雑草生育初期, 草 丈15cm 以下の時, 750~1,000g/a, 茎葉(兼土壌)処理.

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布量等	新 継 の 別 今 回 判 定	判定内容または理由
16. パラコート 液剤 ○ パラコート ● グラモキ ソンA, B	パラコートジクロリド ……………7.6%	アイ・シ ー・アイ ・ジャパ ン, 日本 農薬, 武 田薬品工 業.	ミカ ン類	果試興津支 場, 同安芸 津支場, (2)	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 全 面雑草茎葉処理; A 液50, 100 ml, B 液 100 ml. ＜比較＞パラコート従 来品, 15, 30 ml, 雑 草生育期.	新 実	● 従来のパラコート 剤に準ずる. 〔但し, 薬量は A 剤: 50~100 ml/a, B 剤: 100ml/a とする.〕
17. パラコート 液剤 ○ パラコート ● グラモキ ソンA, B	同 上	同 上	非農 耕地	果試口之津 支場, 四国 農試, (2)	適用性(効果)試験 一年生雑草全般; 全 面茎葉処理; A液67, 130ml, B液130ml; 3~4月雑草生育期. ＜比較＞パラコート従 来品, 20, 40ml.	新 実	● 従来のパラコート 剤に準ずる. 〔但し, 薬量は A 剤: 67~130 ml/a, B 剤: 130ml/a とする.〕

B. 生育調節剤

1. CaCO ₃ 水和剤 ○ 炭酸カル シウム剤 (日焼果 防止等) ● クレフ ノン	炭酸カルシウム…95% 湿展剤等 ……5%	白石カル シウム	温州 ミカ ン	〔日焼〕果試 興津支場, 〔貯蔵〕神奈 川園試根府 川分場,〔自 主〕福岡園 試. (3)	基礎試験 日焼果防止効果, 貯 蔵性他; 委託場所に 一任.	継 継	● 試験年次不足.
2. フソーカル チオン 液剤 ○ カルシウ ム剤 (浮皮軽 減等) ● フソーカ ルチオン	CaO ……20% ニコチン酸アミド ……………0.05% 展着剤 ……0.05%	扶桑化学	早生 温州 ミカ ン	果試興津支 場, 愛知農 総試蒲郡支 所, 香川農 試府中分場, 長崎果試, 宮崎総農試, (5)	基礎試験 浮皮軽減, 減酸, 増 糖, 予措促進等効果; 立木全面散布; 200, 500 倍液; 満開30 日 後より1 カ月間隔で 着色期まで反復処理.	新 継	● 試験年次不足.
3. KT-13 水溶剤 ○ _____ (減酸) ● _____	未 公 開 ……60%	協和醗酵 工業	柑橘 類 (早 生温 州ミ カン でき れば 夏柑)	果試興津支 場, 三重農 技センター 紀南かんき つセンター, 香川農試府 中分場, 佐 賀果試, 熊 本果試, 宮 崎総農試. 〔自主〕神奈 川園試根府	適用性(効果)試験 減酸効果(処理時期, 回数等の検討); 立木 茎葉散布; 400~600 倍液; 第1 回目は1 次生理落果終了後, 2 次落果開始前を目 安とし, 10 日~2 週 間間隔で2~3 回散 布.		● 成分未公開. ● 効果不安定. 〔但し, 減酸剤試 験の比較剤とし て, 次の使用基 準とする. 6 月中旬および 7 月上旬, 1500 ppm, 2 回散布.〕

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新継 の別 今回 判定	判定内容または理由
3. KT-13 水溶剤 (つづき)				川分場, 徳 島果試. (8)			
4. AXF-1072 液剤 ○ _____ (落果防止) ● _____	2,4-ディクロロフェ ノキシ-2'-プロピオ ニックアシド ……………10%	ユニオン ・カーバ イド・ジ ャパン	ネー ブル 他晩 柑類	〔ネーブル〕 果試興津支 場, 福岡園 試, (自主) 広島果試. (3) 〔日向夏〕 静岡柑試伊 豆分場, 宮 崎総農試. (2)	適用性(効果)試験 落果防止効果; 〔ネーブル〕 15, 30 ppm, 果径2.5~3 cm頃, 立木全面茎葉 散布(1回), 100ppm. 果径3.5cm時, 果実 のみ浸漬処理. 〔日向夏〕 100, 200ppm, 冬期収 穫前(0℃以下にな る直前)〔12月下旬 頃〕, 立木全面茎葉 処理.	新 継	● 試験年次不足.
5. KWG-81 ペースト ○ ジベレリ ン剤(果 実肥大) ● _____	ジベレリン ……………2.7%	協和醗酵 工業	晩柑 類	果試口之津 支場,〔自 主〕果試興 津支場,〔自 主〕佐賀果 試. (3)	基礎試験 果実肥大効果; 果梗 部塗布; 20mg/1果; 開花時~40日後頃ま で数回塗布.	新 継	● 試験年次不足.
6. キノゲンA エアゾ ールボンベ ○ トロポロ ン剤(樹 勢回復) ● キノゲンA	ヒノキチオール ……………2.0%	キノゲン	温州 ミカ ン等	愛知農総試 蒲郡支所. (1)	適用性(効果)試験 樹勢回復〔2次的に 収量増など〕; エアゾ ールボンベ1本300 ml, 幹の直径25cm までの木に注入; 3 月末~10月下旬頃.	新 中止	● 効果不明確, 薬害 あり.
7. AXF-1072 液剤 ○ _____ (摘果). ● _____	前 掲 ……………10%	ユニオン ・カーバ イド・ジ ャパン	温州 ミカ ン	果試興津支 場, 四国農 試, 愛媛大 学, 神奈川 園試根府川 分場, 静岡 柑試, 大阪 農技センタ ー, 和歌山 果園試, 広 島果試, 愛 媛果試, 高 知果試, 福 岡園試, 宮 崎総農試.	適用性(効果)試験 摘果効果; 立木全面 茎葉散布; 50, 100 ppm; 満開30, 40, 50日後. 〈比較〉NAA区.	継 継	● 試験年次・例数不 足.

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理時期; 処理方法; 散布薬量等	新継 の別 今回 判定	判定内容または理由
7. AXF-1072 液剤 (つづき)				〔自主〕鹿児島大学. (13)			
8. DGR-63 液剤 ○ (摘果) ●	未 公 開	兼 商	温州 ミカ ン	果試興津支 場, 四国農 試, 大分柑 試, 〔自主 GR-67〕 大阪農技セ ンター. (4)	適用性(効果)試験 摘果効果: 立木全面 茎葉散布; 5, 10, 20, 30ppm; 満開30, 40日後. ＜比較＞NAA区.	継 継	● 成分未公開. GR-67 は試験 年次不足, 成分 未公開で継続.
9. J-455 乳剤 ○ (摘果, 品 質向上) ● フィガロ ン	エチル-5-クロロ- 1H-3-インダゾリ ル-アセテート20%	日産化学 工業	温州 ミカ ン (晩 柑類)	1). ①千葉 暖地園試, 神奈川園試 根府川分場, 静岡柑試, 同西遠分場, 愛知農総試 蒲郡支所, 三重農技紀 南かんきつ センター, 奈良農試, 大阪農技セ ンター, 和 歌山果園試, 兵庫農総セ ンター-淡路 分場, 広島 果試, 香川 農試府中分 場, 愛媛果 試, 福岡園 試, 佐賀果 試, 長崎果 試, 鹿児島 果試. (17) 1) ②兵庫 ・淡路分場, 山口大島柑 試, 徳島果 試, 高知果 試, 大分柑 試, 宮崎総 農試. (6) 〔摘果効果	実用化試験 摘果, 品質向上, 他 剤との混用等の影響 他. 1) 他剤(殺虫・殺菌 剤)との混用・近接 散布の影響について. ①機械油との関係: J- 455, 100, 50ppm, 40~50日, 果径20~ 25mm (満開後1時 期). 機械油: J-455 散布, 5, 10, 15日 前および無散布の計8 処理. ②他薬剤との混用: J-455, 100ppm 混 用剤(場に一任), 満 開40~50日後果径20 ~25mmの一時期混 合散布. 2) 品質向上試験 ①摘果と品質向上: 100ppm, 摘果時期 および満開後, 70~ 80日の2回散布 ②品質向上: 1回目満 開60日後, 2回目そ の15日後2回散布. 2回目 ppm 100 66 0 1回目 ppm 100 66 0 不要 不要 不要 不要 ③晩柑類への効果:	継 実・継	実:〔品質向上(着色 促進, 増糖)剤とし て, 2回散布) (1)間引・摘果剤と して使用した場合. ＜間引・摘果の使用 基準＞ 1 回目: 満開35 ~50日後(果径 20~25mm時) 1,000~2,000倍 (100~200ppm) 液, 250~300 l/10a, 立木全 面散布. 2 回目: 満開70 ~80日後, 2,000 ~3,000倍(66~ 100ppm)液, 250 ~300l/10a, 立木全面散布. (2)品質向上剤だけ として使用する 場合. 1 回目: 満開50 ~60日後, 2,000 ~3,000倍(66~ 100ppm)液, 250 ~300l/10a, 立 木全面散布. 2 回目: 満開70 ~80日後, 2,000 ~3,000倍(66~ 100ppm)液, 250 ~300l/10a, 立 木全面散布.

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新継 の別 今回 判定	判定内容または理由
9. J-455 乳剤 (つづき)				全般) 果試興津支 場,千葉大, 愛媛大,神 奈川園試根 府川分場。 (4) 2) ①, ② (早生温州) 四国農試, 鹿児島大学, 神奈川園試 根府川分場, 静岡柑試, 同西遠分場, 愛知農総試 蒲郡支所, 三重農技セ ンター紀南 柑きつセン ター,奈良 農試,和歌 山果園試, 兵庫農総セ ンター淡路 分場,広島 果試,山口 大島柑試, 香川農試府 中分場,徳 島果試,高 知果試,福 岡園試,佐 賀果試,長 崎果試,熊 本果試,宮 崎総農試, 鹿児島果試 (21) 〔普通温州〕 四国農試, 神奈川園試 根府川分場, 静岡柑試西 遠分場,熊 本果試。 (4) 〔その他品 質への影 響〕	100ppm, 満開 100 日 後および 130 日後, 2 回散布。		継: 他農薬 (Mダイ ファー, スプラサ イド, ラビライト など) との混用, 品質向上 (特に晩 柑類に対する) 等 について再検討。

薬剤名・剤型 ○ 種類名 ● 商品名	有効成分および含有率	委託者名	対象 果樹	試験実施 場所(数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量等	新 継 の 別 今 回 判 定	判定内容または理由
9. J-455 (つづき)				果試口之津 支場, 神奈 川園試根府 川分場, 徳 島果試. (3) 2) ③鹿児島大学, 兵 庫農総セン ター農試淡 路分場, 山 口大島柑試, 徳島果試, 高知果試. (5)			
10. GA ₃ 粉末・錠剤 ○ ジベレリ ン剤 (着果数 抑制) ● ジベレリ ン 〔昭和53年試 験〕	ジベレリン粉末 ……………3.1% ジベレリン錠 ……………2.78%	日本ジベ レリン研 究会	温州 ミカ ン	果試興津支 場, 鹿児島 大学, 静岡 柑試, 大阪 農技センタ ー, 和歌山 果園試, 愛 媛果試, 福 岡園試, 宮 崎総農試. (8)	実用化試験 ジベレリン散布によ る着花数の抑制およ び新葉の生産; 立木 全面散布; 委託場所 に一任.	継 中 止	● 試験結果不一致.
11. CaCO ₃ 水和剤 ○ 炭酸カル シウム剤 (日焼果 防止) ● クレフノ ン	前 掲	白石カル シウム	パイ ナッ プル	沖縄農試名 護支場, 同 八重山支場. (2)	適用性(効果)試験 果実の日焼防止効果; 果実塗布または散布; CaCO ₃ 2倍+ チック10倍液, CaCO ₃ 5倍+ チック10倍液, CaCO ₃ 10倍+ チック10倍液, CaCO ₃ 2倍液のみ. ＜比較＞ ①パイナップル 結束区, ②袋掛区, ③無処理区.	新 継	● 試験年次不足.
12. エスレル +酢酸カル シウム ○ _____ ● _____	2-クロロエタンフォ スフォニックアシド ……………10% カルシウムアセテート ……………100%	2,4-D 協議会	温州 ミカ ン	果試興津支 場, 鹿児島 大学. (2)	適用性(効果)試験 省略.	新 継	● 試験年次不足.